

授業科目名	<p style="text-align: center;">地 域 母 子 保 健</p> <p style="text-align: center;"><i>Community Maternal and Child Health</i></p>		担当教員	平田 伸子	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	国際化を視野に入れ、地域における母子保健、女性保健を推進するために助産師に必要な基礎的能力を習得する。				
到達目標	地域における母子保健のしくみや制度を理解し、母子や家族、女性の健康支援を効果的に展開するための知識として応用することができる。				
授業計画	<p>1回、2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域母子保健活動の意義 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと親をめぐる現状 ・地域母子保健活動の意義 ・統計から見た母子保健 1) 人口動態統計 2) 母体保護統計 ◆母子保健の現状と動向 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども虐待死亡事例分析統計 ・わが国の母子保健行政 ・地域母子保健を展開する場とマンパワー・ネットワーク ・子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 <p>3回、4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域母子保健行政の体系 <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健行政の進展 ・母子保健関係法規および事業財源 ・主な母子保健制度・施策 1) 健康診査 2) 保健指導 3) 療養援護 4) 医療対策 5) 予防接種 6) 不妊に対する相談と治療費助成 7) ひとり親家庭の支援 8) 職域における母子保健(働く女性) 9) 女性保護 10) 「健やか親子21」(第二次) 助産師の課題 ◆母子の家庭訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・新生児訪問指導 ・褥婦の家庭訪問(妊婦訪問指導を含めて) ・未熟児訪問指導 ・乳児家庭全戸訪問 ・養育支援訪問事業 <p>5回、6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆<当日配布・回収>事例検討：助産師が会える子ども虐待事例 <ul style="list-style-type: none"> ・ブラインドケース・虐待予防の視点から ・子ども虐待・DV問題から見た助産師業務(医療ネグレクトを含む) ◆地域母子保健活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・地域組織活動 ・地域子育て支援活動 ・地域相談活動 ・災害時の地域母子保健活動 <p>7回、8回</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国際化時代の母子保健 <ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の母子保健活動 ・海外在住日本人の母子保健 ・在日外国人の母子保健 現状と課題 ◆母子保健行政の新たな取り組みと課題 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター ・未成年の性暴力被害と性被害児童への支援 ・まとめとしての国試トレーニング 				
学習方法	講義のほかに課題についての事前学習・発表者のレジюмеをもとに討議形式にて進める				
オフィス ア ワ ー	非常勤講師のためメールにて対応。 n-hirata@fmt.teikyo-u.ac.jp				
テキスト	我部山キヨ子他：助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健。東京，医学書院，2015.				
参考文献	授業の中で適宜紹介する				
評価方法	授業への参加度(40%)、課題の発表(20%)及び作成資料(20%) [ルーブリック評価を初回授業で提示]、課題レポート(20%)				